

## 令和元年度事業計画書

## 1、定款に規定する事業に則り次の事項を行う

## 公1-1 都市防災・美化に関する調査・研究

## (1) テーマ 「都市防災・美化のための街路樹管理技術・体制のありかたに関する調査・研究」

## (2) 調査・研究の背景と目的

- ・これまで当協会では、藤井先生を委員長とする「街路樹に関する調査・研究」を、平成25年度、28年度と二回行った。一回目では、樹冠の拡大が、温暖化・ヒートアイランド対策、地震防災対策などに効果あることを確認した。二回目では樹冠の拡大化の可能性と必要条件を、事例を集め実地に調査し、検討し提言した。
- ・全二回の調査・研究から、良き街路樹環境を維持するためには、剪定技術はもとより管理体制の課題が浮かび上がってきた。街路樹整備にリーダーシップをとってきた人々の存在、及びその支援体制など好環境が、担当者の交代・行政組織の改編とともに、失われる危険性が生じつつある。管理体制の継続性への対応、或いは新たな管理体制の構築が求められる。
- ・そこで、先進的自治体の管理技術・体制の推移と現状の課題を整理するとともに、諸外国の事例を検証する。そしてこれらをもとに検討を進め、都市防止・美化にとって極めて重要な街路樹を育成・維持するための管理技術・体制について提言する。

## (3) 調査・研究の内容及び方法

- (1) 日本の街路樹管理技術・体制の推移と現状  
東京都、及び先進的な取り組みをしてきた江戸川区・仙台市・宇部市等について検討。
- (2) 諸外国の街路樹管理技術・体制  
ヨーロッパ諸国・アメリカ・カナダの管理体制・指針を調査検討。
- (3) 都市防災・美化のための街路樹管理技術・体制  
日本及び諸外国についての調査・検討結果を踏まえ、新たな提言を行う。

## (4) (公財)都市防災美化協会に調査・研究委員会を設置し、調査・研究を推進する。

## ① 調査・研究委員会の構成

(委員は50音順に表示)

- |        |        |                    |
|--------|--------|--------------------|
| <事業統括> | ・中島 宏  | (公財)都市防災美化協会 理事長   |
| <委員長>  | ・藤井英二郎 | 千葉大学名誉教授           |
| <委員>   | ・板谷駿一  | 元NHK専務理事・放送総局長     |
|        | ・岩澤一正  | (公財)都市防災美化協会 理事    |
|        | ・海老沢清也 | 江戸川区道路公園課          |
|        | ・清水政雄  | (公財)都市防災美化協会 理事    |
|        | ・當内匡   | (一社)日本造園建設業協会      |
|        | ・西口敏之  | (公財)都市防災美化協会 常務理事  |
|        | ・花形一実  | フリーアナウンサー          |
|        | ・細川卓巳  | 東京都建設局公園計画担当部長     |
|        | ・細野哲央  | (一社)地域緑化技術普及協会代表理事 |
|        | ・水真洋子  | ベルサイユ高等造園学校博士研究員   |
|        | ・山下得男  | (一社)街路樹診断協会副会長     |
|        | ・吉岡賢人  | 吉岡緑地               |
|        | ・和田幸子  | (公財)都市防災美化協会       |

<事務局> ・吉岡賢人 吉岡緑地  
・和田幸子 (公財)都市防災美化協会

その他必要に応じて企業の防災、都市計画、環境等の専門家からメンバーの追加を行う

- ② 調査・研究委員会の運営  
「調査・研究委員会」は3回実施する  
●第1回委員会(2019年5月頃)  
●第2回委員会(2019年10月頃)  
●第3回委員会(2020年2月頃)

(5) 調査・研究期間

2019年4月より2020年2月までとする

(6) 業務委託契約の内容

- ① 業務委託名称  
「都市防災・美化のための街路樹管理技術・体制のありかたに関する調査・研究」
- ② 業務委託期間 2019年4月から2020年2月まで
- ③ 契約締結日 2019年4月
- ④ 委託先 藤井英二郎
- ⑤ 調査・研究報告書の体裁 A4判 100ページ程度

公1-2 都市防災・美化に関する図書・印刷物の発行

- (1) ① 不特定多数の都民が当協会の行う調査・研究の成果品を活用することによって、防災・美化対策の一助になるよう出版する。  
② 国や地方公共団体の防災、環境の保全、保護及び整備等の担当者、関係者及び大学等の研究者に役立てて頂くよう出版する。
- (2) 出版物 「関東大震災に係わる震災遺構における緑地の役割と今後の活用のありかたに関する調査研究」
- (3) 出版部数 600部(予定)

公1-3 都市防災・美化に関する普及・啓発

- (1) 都民及び団体等への都市防災・美化に関する普及・啓発活動の一環として都市防災・美化に関わる大学の研究者、行政、研究機関及び図書館等に出版物を無償頒布する。
- (2) 当協会の出版物を活用して、防災・美化対策に関連する講演会、協議会等で公表したり、シンポジウムを開催する等によって普及・啓発を図る。